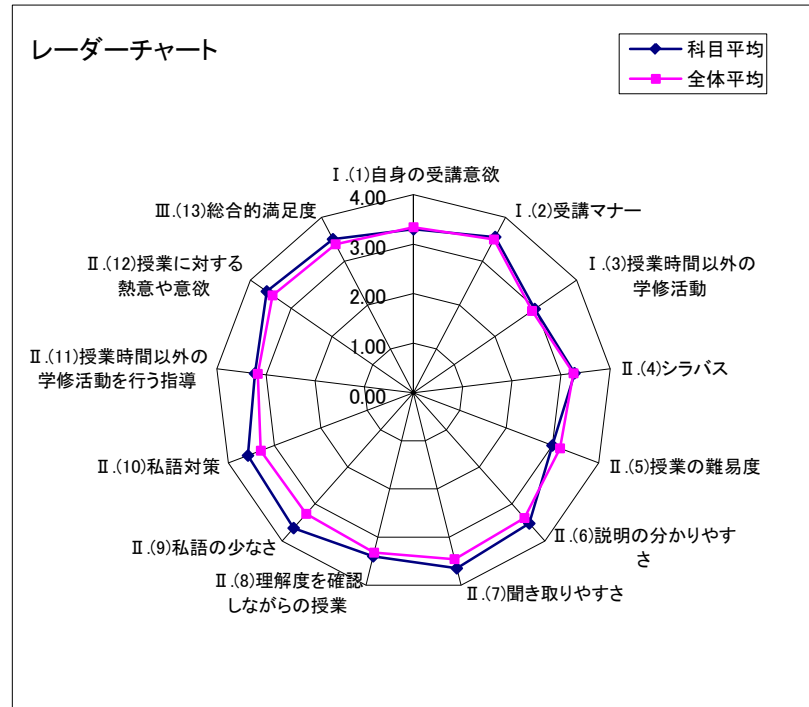
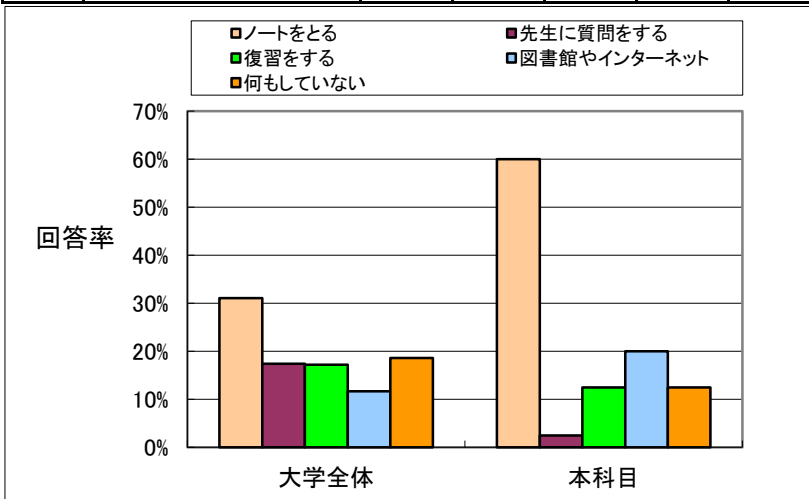


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	60.0	2.5	12.5	20.0	12.5



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.30	3.34
	I.(2)	3.55	3.49
	I.(3)	2.98	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.28	3.26
	II.(5)	3.00	3.16
	II.(6)	3.53	3.38
	II.(7)	3.65	3.46
	II.(8)	3.40	3.32
	II.(9)	3.65	3.27
	II.(10)	3.58	3.30
	II.(11)	3.23	3.17
	II.(12)	3.60	3.46
	総合評価	III.(13)	3.50

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.28	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.43	3.31
総合評価 III.(13)	3.50	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1208
科目名	奈良の文学と風土/奈良文化論A(文学)
教員名	

①授業計画の達成度について

本授業では、秋の正倉院展に合わせて、正倉院宝物の歴史・宝物の成り立ち・東西の文物の交流、及び、正倉院文書から分かる古代官人の生活などの講義を前半に行った。ほぼ毎回パワーポイントを使った授業であった。手元に資料も配布したので、満足度の高い授業となった。90%の学生がほぼ満足と答えている。さらに、85%の学生が、試験として課したテーマについて、自主的に学修していたことは、評価できると考えている。概ね計画は達成できたと認識している。

②授業の進め方について

受講人数は多い方であるが、座席指定をしているためか、私語は少ない。遅刻・私語については、はじめの数回の授業で厳しく注意を与えるので、それ以降は、概ね快適な環境で授業が進められたと感じている。正倉院宝物や正倉院文書の話は、必ずしもポピュラーではないので、できる限り視覚的な教材を用意して授業を進めた。また、ほぼ毎回、2~3問の質問を設定し、初見カードを書かせ、疑問点・質問については翌週の授業で解説するようにした。そのためか、予想以上にノートを取る学生(60%)が多かった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

想定外のマイナス評価はなかったと認識している。
私語対策と授業運営上の必要から座席指定を行っているが、授業アンケートの結果から見て、一定の効果が上がっていると思われる。今後も行いたい。但し、前に座ることを希望する学生もるので、柔軟に対応したい。
今年度は、正倉院宝物・正倉院文書のみならず、萬葉集を取り上げた時も、視覚的な資料を使用したことで、学生の集中度が増したように感じた。今後も視覚的教材の使用に工夫を加えたい。